



:: 曲目解説 ::



Un jardin aérien Ouvrir

(空中庭園 開演)

2012年5月作曲・本月初演 [Time:約3分]

編成: Vo. 2Rec. tFr. Vdg. Lt. Ob. Fg. (ボイス、2リコーダー、フラウト・トラベルソ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、オーボエ、ファゴット)

空中庭園の主題を盛り込んだ、コンサートオープニング演出のための小品です。
ケルヴィネル変奏曲の第三変奏"空中庭園"の中にそのテーマが登場します。
今回の作品展を開催するにあたり、洋館と空中庭園をコンサート全体のテーマとして、
中世のお祭りをイメージしたピリオド楽器の合奏曲としてこの曲を作曲しました。



Fantaisie de Cunuis pour duo du piano

(クナイス幻想曲 ピアノ連弾の為の)

2002年2台ピアノのために作曲。同年Varieコンサート・高松県民文化ホールで初演。2012年4手連弾に編曲、改訂。
[Time:約15分] 編成: Pf. duet (ピアノ連弾)

物語朗読のために作曲した2台ピアノのための組曲を、連弾に編曲しました。

I. La lune de Caven (ケヴンの密造酒)

ケヴンの街外れ、暗い洞窟の中で、密やかに精製されている琥珀色の密造酒

II. une préfecture Cunuis (クナイス城下町)

多くの人で賑わう城下町に市場が立ち、異国の珍しい品々が並んでいます

III. La danse du soldat (衛兵の踊り)

泥とほこりにまみれた衛兵たち、密造酒を飲みながら無骨なダンスを踊ります

IV. Un mur de château brumeux (霧の城壁)

祭りの後、明け方の空、人々は寝静まり、霧の向こうに幻想的な街の情景が浮かびます



Corridoio Molle

(やわらかな回廊)

2006年スケッチ、2011年11月作曲・2012年2月Asturiasライブ・池袋シャロンゴスペルチャーチにて初演
[Time:5分] 編成: Gt. Pf. Vn. Cl. (ギター、ピアノ、ヴァイオリン、クラリネット)

クラリネット&リコーダ奏者として参加しているプログレッシブロックユニット

「アコースティック・アストゥーリアス」のために制作した楽曲です。

2006年、コンサートツアーでイタリアのいくつかの町を訪れました。

その中で1日観光の日をもうけ、かけ足でローマやフィレンツェの街を見て回る事になり、
最後に閉館間際のウィフィッチ美術館に出かけました。長い廊下の左右に沢山の部屋が並び、
その一室一室に圧倒的な量の素晴らしい絵画、彫刻作品が立ち並んでいました。

速いテンポで見て周り、頭の中には沢山の情報が流れ込み...その時の心情、感覚を音楽にしました。



Porte de Châtear pour clarinette et piano

(城門 クラリネットとピアノの為の)

2012年5月作曲・同6月武蔵野音楽大学作曲学科学生による作品発表・モーツアルトホールにて初演
[Time:9分] 編成: Cl. Pf. (クラリネット、ピアノ)

中世の街と言われるフランスの地方都市Provins(プロヴァン)

セザール塔の丘を一人のんびりと散歩しているときに見た情景、朽ちかけた壁、城門、ピリオド楽器たち、
不思議な香料のにおい、すれ違う人々、初めて触れるけれど懐かしいような感覚、
当時の出会いや耳にした音などを思い出しながら書いた楽曲です。



Kervinel Variation pour Hautbois, Clarinette et Basson

(ケルヴィネル変奏曲 オーボエ、クラリネットとバスーンの為の)

2011年7月作曲・同8月及川音楽事務所アニバーサリーガラコンサート・文京シビックホールにて初演
[Time: 14分] 編成: Ob. Cl. Fg. (オーボエ、クラリネット、バスーン)

古い洋館をさまよう夢をもとに作曲した変奏曲。部屋を巡りながら心の奥深くへと進んでいきます。

◆Prelude (前奏曲) Largo

主題のモチーフと、作者不詳の旋律(空中庭園のテーマ)を織り込んだ前奏曲

◆Thema "Kervinel"

古いピアノに因んだ、自作のカノン風主題



◆Var. I pièce de l'audience (謁見の部屋) chaconna

3/4拍子。古楽の舞曲スタイルによる変奏

◆Var. II chambre secrete (隠し部屋)

クラリネット4/4、オーボエ&バスーン12/8拍子。トリプレットによる変奏

◆Var. III jardin aerien (空中庭園)

下屬短調の持続による空虚な変奏、
中間部に作者不詳の旋律(空中庭園のテーマ)を配置



◆Var. IV salon du decor (装飾の部屋) Gigu

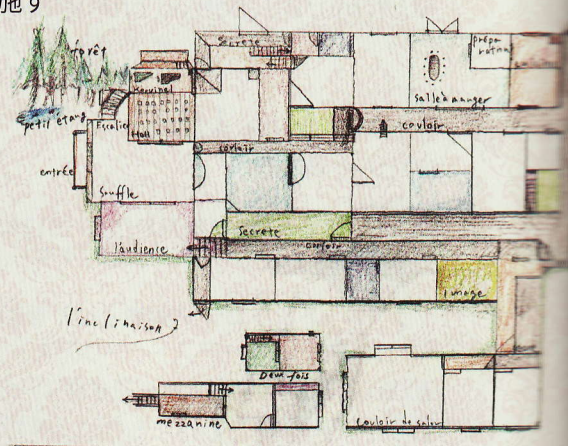
初期バロックのトリオソナタを模倣した変奏。各所に即興的装飾を施す

◆Var. V la piece de l'image (絵画の部屋)

創作和声による変奏。連結したカデンツ付き

◆Coda

終息へのコーラル



Le Matin

(朝)

2011年12月作曲・2012年1月武蔵野音楽大学作曲学科修了試験・モーツアルトホールにて初演
[Time: 14分] 編成: Cl. 2Vn. Va. Vc. (クラリネット、2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)

朝、やわらかな光の中で人は目覚める。

Le Matin (朝) は、男女Duoによるコンテンポラリーダンスを想定とした音楽です。

楽曲構成の各部分において、カミーユ・クローデル(1864-1943)とオーギュスト・ロダン(1840-1917)の彫刻作品をダンス及び音楽的造形の参考に用い、その作品名を副題としました。

◆彫刻作品

la valse (the waltz)

ワルツ

by Camille Claudel, 1892

la pensee (the thought)


パンセ

by Auguste-Rene Rodin, 1958

vertumne et pomone (Vertumne and Pomone)

ヴェルチェムとポモナ

by Camille Claudel, 1905



連作歌曲より
「耳」「永遠」より



Oreille L'Eternité

2012年5月作曲・本月初演

[Time:6分] 編成:Sop. Cl. Pf. (ソプラノ、クラリネット、ピアノ)

師から歌曲の作曲の題材として「耳」、コクトー(堀口大學訳詩)を紹介いただきました。
ことばと音楽の世界に魅力を感じ、堀口大學・訳詩を手がかりに関連のある世界を繋げ、
2012年連作歌曲として、一つの作品としての創作を試みました。うち「耳」「永遠」より、の2作品を演奏します。

oreille (Jean Cocteau, Cannes V)

Mon oreille est un coquillage
Qui aime le bruit de la mer

「耳」 ジャン・コクトー、カンヌ第五番より
堀口大學 訳

わたしの耳は貝の殻
海の響きを懐しむ

L'Eternité (Arthur Rimbaud)

Elle est retrouvée.
Quoi ? - l'Eternité.
C'est la mer allée
Avec le soleil.

「永遠」より アルトゥール・ランボー
堀口大學 訳

もう一度探し出したぞ
何を? 永遠を
それは、太陽と^{つが}番った
海だ



:: 演奏者プロフィール ::

Viola da gamba: 赤塚健太郎 Kentaro Akatsuka

成城大学大学院文学研究科博士課程後期満期退学(音楽学専攻)。
現在、武蔵野音楽大学講師。ヴィオラ・ダ・ガンバを千成千徳氏に師事。

Lute: 久野幹史 Masashi Kuno

作曲・編曲・リュート属奏者。これまで映像音楽や歌曲など音楽を必要とする分野での作・編曲に携わり、
音楽ジャンルは多岐に渡る。撥弦楽器&鍵盤楽器をメインに自らレコーディングし、様々なレコーディングに参加。
リュートを永田平八氏に師事し、リュート属奏者として演奏活動や舞台出演等も行っている。日本リュート協会理事。

Flauto traverso: 野崎真弥 Maya Nozaki

武蔵野音楽大学卒業。東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマ科修了。フルートを中嶋伸夫、野口みお、
神田寛明の各氏に師事。フィリップ・ピエルロ、工藤重典、マクサンス・ラリュエ、各氏のクラス受講。
室内楽を中川良平、リコーダーを吉沢実、バロックフルートを前田りり子の各氏に師事。日本フルート協会デビューリサイタル、
NHK教材用DVD、ドラマ「のだめカンタービレ」オーケストラ出演。レディースオーケストラflumusメンバー。

Voice: 岸川恭子 Kyoko Kishikawa

高校卒業後、演劇の勉強のため上京し、フリーの役者として数々の舞台を経験する。
99年にはCPJ MUSIC代表・松井秋彦氏主宰のコンテンポラリージャズセッションに参加し、
はじめて「VOICE」という楽器のようにインプロビゼーションで声を操る世界に出会う。
その衝撃的な出会いから現在に至るまで、声の可能性を日々研究している。

Recorder: 荻野和夫 Kazuo Ogino

青森県出身。5歳頃より鍵盤楽器を、10歳頃よりギターを学ぶ。1995~96年ブルガリアに滞在、
ピリン国立アンサンブルメンバーよりブルガリア伝統楽器奏法及びリズム体系を学ぶ。
1980年代中期から「ロック的な即興演奏の出来るリコーダー奏者」としてレコーディングセッションに参加、
海外で高い評価を得ているGHOST、Pochakaite Malkoといったロックバンドへの正規加入、
電子音楽や即興系といったミュージシャンとの共演、書籍及びCD解説の執筆等とボーダーレスな活動を続けている。

piano duet Le Lion 新井庸子 Yoko Arai、古賀夏美 Natsumi Koga

師ヤーン・シュ・ツェグレディ指導の元2000年にピアノデュオを結成。
02年「ロシア少年少女ヴァイオリンアンサンブル千葉公演」ゲスト出演。
04年から毎年ピアノ連弾リサイタル・コンサート開催。05年ハンガリー大使館後援・世田谷美術館プロムナードコンサート、
08年大倉山水曜コンサートにてリサイタルを行いノルウェー王国大使館にて紹介される。
第1回横浜国際音楽コンクール連弾の部ファイナリスト。第6回かやぶき音楽堂デュオコンクールA部門ファイナリスト。
第16回東京国際ピアノデュオコンクール入選。

Acoustic Asturias

Vn. テイセナ Sena Tei、Cl. 筒井香織 Kaori Tsutsui、Gt. 大山曜 Yo Ohyama、Pf. 川越好博 Yoshihiro Kawagoe
大山曜ソロプロジェクトとして88～93年にかけてキングレコードより3枚のアルバムを発表。2003年ユニット結成。
06年 avex io からメジャーデビュー。
メキシコ、フランス、イタリアにてプログレフェスティバル出演、コンサートツアーなどを行う。
これまで3枚のアルバム「Bird Eyes View」「Marching Grass on the Hill」「Legend of Gold Wind」をリリース。

Clarinet: 伊藤さやか Sayaka Ito

北海道出身。12歳よりクラリネットを始める。2012年武蔵野音楽大学卒業。
第17回浜松国際管楽器アカデミー & フェスティバルにてヴェンツェル・フックスのクラス修了。
クラリネットを高鹿昶宏、磯部周平、カールマン・ベルケシュの各氏に師事。今夏よりハンガリーへ留学予定。

Piano: 伊集院紀子 Noriko Ijyuin

桐朋学園大学演奏学科ピアノ専攻科卒業。2005年イタリア・ジュピター国際音楽コンクール1位、
2010年日本イタリア協会主催第2回コンコルソ MusicArte ピアノ部門にてグランプリオ大賞・優勝及び聴衆賞受賞。
2011年フェリス女学院主催・第2回山手の丘音楽コンクールピアノ部門・大学、一般の部1位受賞。
イタリアVicenza市・日本イタリア協会共催による、世界遺産Vicenza市Teatro Olimpico国際フェスティバル及び
Venezia国立音楽院特別演奏会に出演、08年トリノ市でリサイタル、
船堀タワーホールにてモーツァルトのピアノ協奏曲を共演、多数のコンサートでソリスト、室内楽奏者として活動。

Oboe: 堀子孝英 Takahide Horiko

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。同大学福井直秋記念奨学生。同大学卒業演奏会、
千葉・岡山県新人演奏会出演。ミュージック・マスターズ・コースinかずさ2008オーディション合格、同講習会に参加。
2011年9月モメント汐留オープニングコンサートにてA.キューネル指揮ベル・カント室内管弦楽団とモーツァルトの
オーボエ協奏曲を共演。木管五重奏団 Ensemble AQUA、吹奏楽団ハーツ・ウインズ、各団員。
バロックから古典の音楽をこよなく愛し、オーボエ、イングリッシュ・ホルン奏者として多岐にわたり演奏活動を行う。

Fagott: 殿村和也 Kazuya Tonomura

1987年千葉県生まれ。2012年3月昭和音楽大学卒業。ファゴットを太田茂、霧生吉秀の各氏に、室内楽を太田茂、
宮村和宏の各氏に師事。在学中、ロラン・ルフェーブル、カール・オットー・ハルトマン、各氏のマスタークラス受講。
現在、洗足学園音楽大学準演奏補助員を勤めながらフリーランスとして活動。
Ensemble Farbeメンバー、WISH wind orchestra団員。とのリード製作者。

Ensemble Farbe

Vn. 吉田爽子 Souko Yoshida

岩手県盛岡市出身。3歳よりヴァイオリンをはじめる。ヴァイオリンを奥田雅代、澤和樹、沼田園子の各氏に、
室内楽を花崎薫、佐々木亮の各氏に師事。現在東京藝術大学音楽学部在学中。

Vn. 渡邊みな子 Minako Watanabe

大阪府立夕陽丘高校音楽科卒業後、東京芸術大学音楽学部器楽科在籍中。京都芸術祭「世界に翔く若き音楽家たち」2008、
Euro Asia Music Festival 2009、Lake District Summer Music 2010等の音楽祭、講演会に参加。
現在ヴァイオリンを山崎貴子、若林暢の各氏に、室内楽を佐々木亮、花崎薫の各氏に師事。

Va. 多井千洋 Chihiro Tai

大阪府出身。これまでにヴァイオリンを杉山笙子、故 東儀幸に、ヴィオラを竹内晴夫、クロード・ルローン、
百武由紀、川崎和憲に師事。愛知県立芸術大学卒業、現在東京藝術大学大学院在籍中。

Vc. 成田七海 Nanami Narita

3歳よりピアノを、12歳よりチェロを始める。東京芸術大学音楽部附属音楽高校を経て、東京芸術大学2年在学中。
第54回鎌倉市小・中・高学生音楽コンクールにて鎌倉音楽クラブ賞・第2位受賞。
ヴォルフガング・ベツチャー、タマーシュ・ヴァルガ各氏のマスタークラス受講。堤剛マスタークラス受講生に選ばれる。
これまでにチェロを羽川真介、河野文昭、上森祥平の各氏、室内楽を松原勝也、市坪俊彦、花崎薫、山本裕康の各氏に師事。

司会、朗読: 麻生素子 Motoko Aso

99年立命館大学入学と同時に劇団西一風に入団。在学中数々の作品に出演。卒業後は活動を休止。
08年「砂の上の企画」を立ち上げ、俳優として活動中。